

同志社女子大学

現代社会学部 社会システム学科

この学科で学ぶこと

「多文化共生」「京都学・観光学」「ライフデザイン」「ビジネスマネジメント」「公共政策と法の5コースから選択し、現代女性の生き方をさまざまな観点から専門的に学ぶ。



大学情報 URL <https://www.dwc.doshisha.ac.jp/>
〒610-0395 京都府京田辺市興戸
同志社女子大学 広報部入学課
TEL 0774-65-8811

学芸学部 現代社会学部 薬学部 看護学部
表象文化学部 生活科学部

資料請求



同志社女子大学はここが魅力!
この大学は、いろいろなことにチャレンジするアクティブな人が多いです。それぞれがキャラクターの良さや個性を生かしている。そんなところが魅力です。

中川 朋子さん
現代社会学部 社会システム学科2020年卒
大阪府立 四條畷高校卒



将来の目標は地域活性化に関わる仕事
この講義では、実際にその土地を歩いて地域を知ることができます。将来は街おこしや地域ブランディングなど、地域活性化に関わる仕事に就けたらと思っています。

上中 愛奈さん
現代社会学部 社会システム学科2020年卒
奈良県立 平城高校卒

Information 入試情報

2021年度の入試情報

◆総合型選抜◆推薦入学試験S
公募制推薦入学試(併願可)
インターネット出願期間
2020年10月19日(月)~11月4日(水)
適性検査 11月15日(日) 午前・午後
合格者発表 11月23日(月・祝)

※変更点…高等学校長推薦書を自己推薦書に変更しす
※選考方法/評価方法…書類審査・調査書の全体の学習成績の状況の10倍および適性検査による総合判定

◆一般選抜◆一般入学試験(前期日程)
インターネット出願期間
2021年1月4日(月)~1月13日(水)
試験日(試験日自由選択制)
1月26日(火)・27日(水)・28日(木)・29日(金)
合格者発表 3教科入試・2教科入試
共通テスト併用方式 2月9日(火)

◆一般選抜◆大学入学共通テストを利用する入学試験

【前期】
インターネット出願期間
2021年1月4日(月)~1月29日(金)
試験日(大学入学共通テスト)
1月16日(土)・17日(日)
合格者発表 2月9日(火)

【後期】
インターネット出願期間
2021年2月17日(水)~2月26日(金)
試験日(大学入学共通テスト)
1月16日(土)・17日(日)
合格者発表 3月16日(火)

※2021年度の入試の詳細については、各入学試験要項を必ずご確認ください。

私の学食 オススメメニュー

京田辺キャンパスの中にはパン屋さんがあります。おススメは「匠バーガー」と「チョコチップパン」。価格は全部110円。常時100種類販売されています。

中川 朋子さん



本日の講義
4.25(木)
at 京田辺キャンパス
11:00~14:45

京都フィールドワーク

この講義で学ぶこと

教室で行う講義だけでは伝えられない京都の魅力を実際に歩いて触れて体験する。京都のあり方を歴史や文化、観光、現代の社会問題などのさまざまな視点から、フィールドワークを通じて具体的に考えていく。

大学のある「京田辺」をフィールドワーク

社会システム学科には「京都学・観光学コース」という学びの領域がある。コースの中で代表的な講義は、京都にある大学というメリットを生かし、京都の歴史や文化、観光学の成り立ちを教室で学び、その後、街へ出て実物に触れる「京都フィールドワーク」だ。

「せっかくなので京都にある大学ですから、教室だけでは伝えられない京都の魅力を直に体験してもらいたい」と天野先生は講義の狙いを話す。フィールドワーク

ークという名の通り、この講義では時間の大半を教室外で過ごす。そのため講義は午前から午後にかけて2時間連続で行われる。「9時に集合して5時に解散というスケジュールの日もあります。一日がかりの講義です」

講義ではまずプリントが配られ、テーマとなる地域の背景などを天野先生が解説する。この日のテーマは「京田辺」。同志社女子大学京田辺キャンパスの地元である。「一般に京都という市内中心部の寺社が集中しているエリアをイメージしますが、周辺地域にも歴史的価値のある所が多くあります。現

在の中心部から見ると周辺ですが、歴史的観点から見ると、かつては京田辺も京都の文化を発信していた地です」

そして、教室を出てテーマとなる場所へ向かう。

例えば、「酬恩庵」という古刹。一般的には「一休寺」と呼ばれており、一休さんとして知られる一休宗純が晩年移り住んだ場所である。「ここは薪という集落で能狂言が発達した場所です。京都から一休和尚のところに芸能師がやって来て、ここで能が完成された。日本を代表する伝統芸能の発祥地がまさにここなんです」

京都の魅力や課題とは？ 街を歩いて考えてみよう

あまの 天野 太郎先生に聞きました

Q 今日講義は、10年後の社会でどのように役に立っていますか？



A この講義では、京都の街の課題や地域が活性化すること意識を向けています。歴史的なものは数多くありますが、十分に生かされていません。企業や行政と連携して、より良い街と社会をつくるヒントを考えていく場だと思っています。

Profile

兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程ならびに同研究科助手を経て、現在同志社女子大学教授。専門は地理学、観光学。幅広く地域形成に関わる事象について関心を持ち、近年は京都の観光、街道の歴史などについて研究。主な共著に『大学的京都ガイド』、『平安京とその時代』、『日本と世界のすがた』など。BS朝日「京都ぶらり歴史探訪」にも案内人としてときどき出演している。

和菓子一つとっても 京都ならではの物語がある

学生の一人はこの講義を「実際に目で見て、感じて、学ぶことができる。歴史と文化の話の面白さから、その場に行って体験できるのが魅力です」と話す。フィールドワークで出かける場所は、学期の初めに天野先生が学生たちと相談して決めている。例えば和菓子体験の場合、「京都の七条にある和菓子屋さんで体験するのですが、その店の前には、院政の時代に後白河上皇が院

の御所を置いた現在の三十三間堂があり、お菓子にも歴史の一端が見える。そのストーリーをくんでから体験するんです」と天野先生。

京都フィールドワークは歴史だけを学ぶ講義ではないという。古の街並と現在のそれとどう違うのか比較しながら理解していく。

「今の京都のあり方や課題を考えること。京都という場所を何かをやってみようという動機が大事なんです」。

京都という地域とどうつながるか。京都フィールドワークは地域連携の講義でもある。

※講義は2019年に取材したものです。

記者の目 同志社女子大学はこんな大学

のどかな自然の中に建つレンガ色の校舎が印象的でした。ラーニング・commonsとよばれる自主学修施設ではグループでディスカッションしたり、一人で黙々と課題に取り組んだり、学生たちがそれぞれに自分のやりたいことに励む姿が見られました。

